

## 平成 29 年度 第 1 回国営事業評価技術検討会

日時：平成 29 年 5 月 9 日（火）13:15～13:45

場所：エルプラザ環境研究室

### 1. 開 会 (事務局)

それでは定刻となりましたので、ただいまから、平成 29 年度第 1 回国営事業評価技術検討会を開会いたします。

本日は、お忙しい中、委員の皆様におかれましては、御出席頂きまして誠にありがとうございます。

私は、北海道開発局農業整備課の舘石でございます。委員長選出までの間、委員会の進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、開催に当たりまして、瀧戸農業水産部長から御挨拶を申し上げます。

### 2. 農業水産部長挨拶

北海道開発局農業水産部長の瀧戸でございます。

本日は、お忙しい中、国営事業評価技術検討会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

先生方におかれましては、昨年度に引き続き委員に御就任いただいているということで、事業評価制度の詳しい内容につきましては割愛させていただきますが、期中の事業評価につきましては平成 10 年から、事後評価につきましては平成 12 年から始まっており、それぞれ約 20 年近く経過するところでございます。この間、公共事業につきましては、懸案の多い中、一般の方々から見てきちんと行われていることを示すために、客観的かつ透明性を確保しながら行っていくことが非常に重要になっております。そのため、私ども役所の人間だけではなく、今日御参集いただいております皆様の御審議をいただく中で、事業の見直しをしていきたいと考えているところでございます。

本年度につきましても、期中の評価がふらの・サロベツ・別海西部の 3 地区、事後評価がいずれも斜網地域の方で、斜網西部・小清水・斜里・斜里（二期）の 4 地区となっております。今、申し上げた事業評価対象地区は、札幌からは遠方の地区となり、かつ今年度もスケジュールが非常にタイトな中で、先生方に御審議・御視察をお願いすることになります。よろしくようお願い申し上げます。

また、昨年度はこの委員会が終わった夏以降、台風により北海道農業も相当影響

を受けているところでございます。最近、新聞を賑わしておりますジャガイモの不足の問題等の中で、北海道の農業が、日本全体に対して大変大きな役割を果たしているという認識を新たにされたのではないのかと思っております。

北海道開発局といたしましても、私ども農業部門だけではなく、農業の被災地域につきましても、河川部門等に協力頂きながら復興しているところでございますし、また、輸出・輸入の関係につきましても、港湾・空港部門の協力を頂きながらというように、皆で一丸となって北海道農業の振興に努めているところでございます。今後とも、私どもも事業を通じて北海道農業の振興を図っていきたいと考えておりますので、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りたいと思っております。

よろしくお願い申し上げます。

(事務局)

ありがとうございました。

### 3. 委員紹介

(事務局)

それでは本日は第1回目の委員会でございますので、議事に先立ちまして、当技術検討会の委員に御就任いただいております先生方を御紹介させていただきたいと思っております。

五十音順で御紹介させていただきます。

岡村 俊邦（おかむら としくに）委員です。

紺野 裕乃（こんの ひろの）委員です。

長澤 徹明（ながさわ てつあき）委員です。

中原 准一（なかはら じゅんいち）委員です。

波多野 隆介（はたの りゅうすけ）委員です。

森 久美子（もり くみこ）委員です。

続きまして北海道開発局の出席者を紹介させていただきます。

先ほど挨拶をいたしました、

瀧戸農業水産部長です。

参鍋調整官です。

北田農業計画課長です。

實井農業調査課長です。  
細井農業設計課長です。  
草薙農業振興課長です。  
三野事業調査官です。  
阿久津農業企画官です。  
高野農業施設管理官です。  
飯田土地改良管理室長です。  
青山農業振興対策官です。  
高久事業計画推進官です。  
最後に、農業整備課長の館石でございます。

#### 4. 委員長選任

(事務局)

続きまして、議事次第の4、委員長の選任に移らせていただきます。

配布資料2の10ページに国営事業評価技術検討会設置要領がございますが、第3条第2項により、「委員長は委員による互選とする」となっておりますので、よろしく願いいたします。

(中原委員)

長澤委員が適任かと思えます。

(各委員)

異議なし。

(事務局)

それでは皆様方御異議がないようでございますので、長澤委員を委員長といたします。これ以降の検討会の進行につきましては、長澤委員長にお願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。

#### 5. 審 議

(長澤委員長)

簡単にご挨拶を申し上げます。

引き続き委員長に指名されました。これから約2ヶ月間よろしく願いいたしま

す。

今朝方、「農村振興」という雑誌の冒頭を読んでおまして、農林水産省農村振興局整備部長の寄稿があり、その中で「担い手問題」と「働き方改革」は間違いなく押し寄せているということが書かれていました。それを見ながら、そういった喫緊の課題に 대응するためにも農業農村整備をしっかりとやっていかなければならないという思いを新たにしました。

技術検討委員会のミッションは、何年も委員をやってこられた方ばかりでございますから十分承知のことと思いますが、あまり慣れることなく真摯に今年度も向き合っていきたいと思っております。そして、社会の負託に応えたいと思っております。

よろしく申し上げます。

それでは、さっそくお手元の議事次第に従って議事に入りたいと思っております。

最初に、委員会審議事項の（１）「委員会の運営について」、事務局より説明願います。

（事務局）

資料２の事後評価関係要綱等の配付資料 10 ページ、国営事業評価技術検討会設置要領をお開き願います。本技術検討会の業務としましては、第２条に記載がありますとおり、技術検討会の業務は、「北海道開発局国営事業管理委員会による再評価及び事後評価の結果に対し意見を答申するものとする」とございます。

その手順としては現地調査や関係市町村、土地改良区、受益者等と意見交換会を行い、第２回技術検討会での審議を通じて答申をいただくこととしております。

次に検討会の公開のあり方につきましては、毎年、第１回目の検討会で決定願っております。

参考に昨年の検討会の公開要領について説明させていただきます。17 ページをお開き願いまして、昨年の技術検討会の公開要領ですが、検討会の透明性を確保する観点から、１に原則として一般に公開するとし、一般傍聴についても、２以下の公開要領に沿って傍聴していただくこととしております。

議事の公表につきましては、配布資料とともに議事概要を公表します。また、議事録は事務局で作成し、各委員に内容を確認頂いたうえで公表しています。なお、議事録は発言者名を記して公表しています。

また、来週以降順次行います現地調査につきましては、各委員が地区の最終的な評価に対し、意見を述べるための途中段階で行っている調査でございますので、意見交換につきましては非公開としておりますが、要請があれば実施日時、調査地区等を公表するとしております。

なお、現地での意見交換の概要につきましては、第2回の技術検討会までに整理し、公開いたします。

委員へのマスコミ等からの取材については、事務局が窓口として対応するという運営方法をとりたいと考えています。

(長澤委員長)

ありがとうございました。

事務局から説明がありました

- ・ 一般傍聴を認めており、公開要領に沿って傍聴していただくこと。
- ・ 技術検討会の議事録については発言者名を記して公表すること。
- ・ 現地調査につきましては、各委員が地区の最終的な評価に対し、意見を述べるための途中段階で行っている調査であり、意見交換については非公開とすること、要請があれば実施日時、調査地区等を公表すること。
- ・ 現地での意見交換の概要については、第2回の技術検討会において概要を公開すること。
- ・ 委員へのマスコミ等の取材については、委員が個別に対応しない、ということ。

ですが、委員の皆様は今の運営方法についていかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(長澤委員長)

それでは、本年度はただいま確認しました内容で運営させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

(各委員)

異議なし

(長澤委員長)

ありがとうございました。

なお、評価の意見を取りまとめていく段階で、運営方針に変化が生じた場合には、委員にて協議し対応していきたいと思えます。

続いて、委員会審議事項の(2)「平成29年度再評価・事後評価地区について」事務局から説明願います。

(事務局)

再評価地区の説明をさせていただきます。

資料3を御覧ください。表紙を1枚めくると期中の評価となっており、再評価の一覧となっております。

1地区目が国営かんがい排水事業ふらの地区で、採択年度は平成14年度、採択時の総事業費は93億円、主要工事計画は、東郷ダム改修、揚水機場1箇所、用水路8.4km、ファームポンド2箇所、水管理施設1式でございます。

2地区目が国営環境保全型かんがい排水事業別海西部地区で、採択年度は平成19年度、採択時の総事業費は220億円、主要工事計画が用水路約100km、取水井戸1箇所、排水路17kmでございます。

3地区目が国営総合農地防災事業サロベツ地区で、採択年度が平成19年度、採択時の総事業費は246億円、主要工事計画が排水路42.4km、農地保全工一式でございます。

それぞれの地区の位置につきましては、下段に記載のとおりでございます。

続きまして、事後評価地区の説明させていただきます。

斜網地域ということで4地区が隣接しております。畑地帯総合土地パイロット事業が3地区あり、簡単に概要のみご紹介させていただきます。

畑地帯総合土地パイロット事業の1地区目は小清水地区で、関係市町村が小清水町、清里町、斜里町の3町、事業期間は昭和53年度から平成21年度となっております。受益面積は12,910ha、事業費は約897億円、主要工事が貯水池1箇所、後述します斜網西部地区・斜里地区と共用となっており、頭首工3箇所のうち1箇所についても他2地区との共用、用水路421.5km、排水路9.1km、その他に区画整理、農地造成、農道の整備を行っております。

2地区目は斜網西部地区で、関係市町村は、網走市、大空町、小清水町、事業期間は昭和58年度から平成21年度、完了公告年度は平成22年度、受益面積は4,357ha、事業費は約426億円、主要工事は、貯水池1箇所、他の2地区と共用、頭首工2箇所のうち1箇所は他2地区と共用、その他に揚水機3箇所、用水路、排水路、農地造成、農道の整備を行っております。

3地区目は斜里地区で、関係市町村は、斜里町1町のみで、事業期間は昭和61年度から平成21年度、完了公告年度は平成22年度、受益面積は4,939ha、事業費は約290億円、主要工事は、用水路、排水機、排水路、農地造成、農道でございます。こちらの地区につきましては、貯水池と頭首工が記載されておりませんが、国営かんが

い排水事業斜里（二期）地区として基幹水利施設を分離した事業計画となっております。

国営かんがい排水事業斜里（二期）地区については、事業期間は昭和 58 年度から平成 21 年度、完了公告年度は平成 22 年度で、受益面積は 2,194ha、事業費は約 117 億円となっております。

（長澤委員長）

ありがとうございました。

ただいまの説明に対しまして、御質問・御意見ございますか。

（各委員）

ありません。

（長澤委員長）

再評価については、事業採択後 10 年経過した時点で、事後評価については、地区完了後 5 年でそれぞれ行うこととなっておりますが、今回対象となる評価地区の年数はどのように理解すればよろしいのでしょうか。

（瀧戸部長）

再評価につきましては、地区採択後 10 年を経過した時点で再評価を行い、それ以降は直近の再評価実施年度から 5 年ごとに行うことになっております。

（事務局）

平成 14 年度に事業採択されたふらの地区につきましては、平成 24 年度に 1 回目の再評価を行っており、今回 2 回目の再評価になります。

事後評価につきましては、国営事後評価等実施要領では、事業完了公告があった年度の翌年度から起算しておおむね 5 年となっております。場合によっては、調査年度が前後することもございます。

（長澤委員長）

分かりました。

（長澤委員長）

続いて、委員会審議事項の（3）「平成 29 年度スケジュールについて」事務局から説明願います。

(事務局)

資料4を御覧ください。本日、第1回の事業評価技術検討会で委員長の選任等を行っていただいております。また、7月上旬予定の第2回事業評価技術検討会までの間、各地区の現地調査を行い、その後、評価結果について諮問させていただきまして、7月中旬には事業評価の結果の答申をいただきたいと考えております。

公表の時期は、資料2のP2にございます国営土地改良事業等再評価実施要領第7、同じく資料2のP5にございます国営土地改良事業等事後評価実施要領第5に基づき、8月末までに公表することが定められていますので、それに沿って技術検討会のご審議を進めてまいりたいと思います。

非常にタイトなスケジュールでございますが、よろしく申し上げます。

(長澤委員長)

ありがとうございました。

ただいまのスケジュール案について、御質問・御意見はありますでしょうか。

(各委員)

ありません。

(長澤委員長)

それでは、本日の議事案件については、これで終了となります。

ありがとうございました。

なお、本日の議事については、公表する議事概要の内容確認につきましては、私にお任せいただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(長澤委員長)

ありがとうございました。

では、本日の検討会の具体的な公表について、事務局から説明願います。

(事務局)

本日の議事概要については、委員長に内容を御確認いただいた上で、配布資料とともに公表する予定です。また、議事録に関しては、各委員に内容をご確認いただいた



上で公表したいと思います。

(長澤委員長)

ご協力、ありがとうございました。

これで、第1回検討会の審議は終了いたします。

## 6. 閉 会

(事務局)

ありがとうございました。

以上をもちまして、第1回検討会を終了させていただきます。

(以上)